

# ゴーストハンター13 タイルゲーム 応募シナリオ 0『アウローラを探して』

作成：しーちゃん

以下『ゴーストハンター13 タイルゲーム』 = 『GH13』

☆シナリオレベル 1 レベル

☆使用セット

- 『GH13』 基本セット
- 『GH13 EX1 7つの大罪』

☆準備

部屋タイル		
基本セット		
(1)使用しないタイル 6枚		
[T-1 階段]	[T-2 階段]	[T-16 階段 (地下) ]
[T-17 エントランス]	[T-20 シュート]	[T-21 シュートランディング]
(2)別にしておくタイル 2枚		
[T-15 塔]	[T-40 封印室]	
上記以外の部屋タイルをまとめてシャッフルし、山札を作ります。		
「七つの大罪」		
(1)使用するタイル 11枚		
[T-48 玄関ホール]	[T-61 霊廟]	[T-63 井戸]
[T-65 池]	[T-66 納屋]	[T-67/O 家屋]
[T-68/O 教会]	[T-69/O 娯楽場]	[T-70/O 事務所]
[T-71/o 厩舎]	[[T-72/O 墓地]	
上記のタイルを以下の図の通り配置します。「七つの大罪」からは、それ以外のタイルは使用しません。 [T-48 玄関ホール]から先は、タイル山からタイルを引いて広げてゆきます。		



### イベントカード (イベント/monster/罠の3種類)

カードを選ぶ際に内容までは見ないようにするほうが楽しめます。

#### 「基本セット」

#### ★イベントカード

(1)使用しないイベントカード 4枚

[E-3 部屋陥没]

[E-10 誘惑]

[E-12 火事]

[E-30 鎖に繋がれた足音]

(2)別にしておくイベントカード 2枚

[E-17 幻視]

[E-28 奇跡の泉]

#### ★monsterカード

(1)使用しないmonsterカード 4枚

[E-31 首なし騎士]

[E-35 ゴーレム]

[E-40 時計仕掛けのロボット]

[E-45 吸血鬼]

(2)別にしておくmonsterカード 4枚

[E-33 死んだ冒険者]

[E-37 血塗れ予言者]

[E-41 ささやく美女]

[E-44 グール]

#### ★罠カード

すべて使用します。

### 「7つの大罪」

#### ★イベントカード

(1)使用しないイベントカード 2枚

[E-60 グレムリンのいたずら] [E-71 部屋破壊]

(2)別にしておくイベントカード 2枚

[E-59 幻聴] [E-79 妙なる香り]

#### ★モンスターカード

(1)使用しないモンスターカード 3枚

[E-87 ドラゴン] [E-88 手斧の殺人鬼] [E-90 人狼]

(2)別にしておくモンスターカード 4枚

[E-84 凶暴化した植物] [E-85 破滅の歌い手] [E-83 悪魔]

[E-89 死者の女王]

#### ★罨カード

すべて使用します。

#### アイテムカード

### 「基本セット」

(1)使用しないアイテムカード 2枚

[I-4 ハシゴ] [I-5 ハシゴ]

(2)別にしておくアイテムカード 5枚

[I-9 日記] [I-21 魔導書] [I-17 スケルトン鍵]

[I-19 塔の鍵] [I-23 十字の鍵]

### 「7つの大罪」

(1)使用しないアイテムカード 2枚

[I-45 ラダー] [I-47 スケルトン鍵]

(2)別にしておくアイテムカード 3枚

[I-27 聖なる短剣] [I-30 手紙] [I-49 ペンダント]

上記以外のアイテムカードをシャッフルして、山札を作ります。

## ☆HP/MP が 0 以下になったプレイヤーの扱い

「GH13 シナリオブック シナリオ 1 1000 の部屋をもつ館」に準じます。

## ☆スタートプレイヤー

スタートプレイヤーは「**もっとも素直なプレイヤー**」です。

## ☆シナリオの内容

以下の状況をプレイヤーに説明します。

君たちはとある**緑深い街**にやってきた。

この街の**領主の末裔**だという若い男が、ゴーストハンターの力を借りたいというのだ。

「かつてこの街には**邪悪な魔女**がいました。魔女は百発百中の**予言**をなし、魔力のこもった言葉で人の**運命**すら狂わせたといひます。しかし、**魔女の支配**からこの地を救おうとした領主と彼の騎士たちによって、**魔女は街はずれの館へ封印**されました。.....少なくとも、その**はず**でした」

**はず？** そう問い返すきみたちに、領主は言葉を続ける。

「最近、地元の新聞社から『**予言の魔女**より』という名で奇妙な**手紙**が来るようになりました。少し先の未来をぴたりと言い当てている。気味が悪くなって、かつて**魔女が封印された**という**館**を探索させたのですが.....。今まで誰一人として帰って来ません。そこであなたたちの力を借りたいと思ったのです。.....館に行き、本当に**魔女が復活**しているのか確かめてほしい。そして、復活しているなら、皆さんの手で倒して頂きたいのです」

そう言って、男は**破格な報酬**を示した。

かくして、きみたちは「**予言の魔女**」がかつて支配していた地へと向かったのだった。

## ○プレイヤーの目的

「**予言の魔女**」が本当に復活したのかを確かめ、事件の真相にたどり着くこと。

制限ターンは**2 5 ターン**です。

プレイヤーたちは、**厩舎 B**のタイルにいます。スタートプレイヤーが**厩舎のタイル**の処理を行います。

## ○手がかりの出るタイル 17 枚

以下の部屋タイルがめくられると「手がかり」が発見されます。

**[T-14 塔]**以外は、部屋タイルの処理をしてから、手がかりを読み上げます。

<a href="#">[T-48 玄関ホール]</a>	<a href="#">[T-69/○ 娯楽場]</a>	<a href="#">[T-72/○ 墓地]</a>
<a href="#">[T-63 井戸]</a>	<a href="#">[T-61 霊廟]</a>	<a href="#">[T-24 庭園]</a>
<a href="#">[T-31 主寝室]</a>	<a href="#">[T-34 召使い部屋]</a>	<a href="#">[T-28 荒廃室]</a>
<a href="#">[T-25 客室]もしくは[T-33 収納室]</a>		<a href="#">[T-27 研究室]</a>
<a href="#">[T-35 図書館]</a>	<a href="#">[T-26 教会部屋]</a>	<a href="#">[T-18 舞踏室]</a>
<a href="#">[T-14 塔]</a>	<a href="#">[T-40 封印室]</a>	

## ☆手がかり

### [T-48 玄関ホール]

玄関ホールに入ると部屋の中央に手紙が置いてある。封蝋がされたその手紙には、君たちの宛名が書かれており、ご丁寧にペーパーナイフも傍らに置かれていた。

手紙にはこう書かれている。

『私はあなたがたが**予言の魔女**とお呼びになる予言者です。

名を**アウローラ**と申します。

あなたたちがこの館を訪れることはわかっておりました。

私はあなた方の敵ではありません。私をこの館より**解き放ってほしい**のです。

私をお疑いになるのなら、この館を隅々までご覧になれば、あなた方には**真実**が見えるでしょう。

どうか、あの**悪魔**にはお気をつけて！

この館をさまよう者たちの仲間入りをなさらぬよう、心からお祈りしております。

**予言者アウローラ**』

プレイヤー全員が**[I-30 手紙]**の効果を手に入れます。

入手したことがわかるように、**イベントトークン**などを全員に配布します。アイテムの効果は**各人**が一回ずつ使用できます。受け渡しなどは行えません。

### [T-69/○ 娯楽場]

かつては設備のととのった**賭博場**だったらしいが、今ではすっかり廃墟となっている。

賭博場の跡のあちこちに、**亡霊**がうごめいている。そのいでたちからすると、古い時代の裕福な人々のようだ。

亡霊たちは今もギャンブルに励んでいます。時折「ああ、また負けた！ **魔女のせいだ!**」とか「**魔女よ！ 俺たちに予言を!**」といううめき声が聞こえます。ギャンブルに夢中のため、亡霊たちが襲ってくることはありません。

## [T-72/○ 墓地]

墓地に踏み込むとふらふらと人影が近づいて来た。

『足りぬ、足りぬぞ！ 死骸の数が足りぬ！！ 呪われた者よ。約束の死骸はどうした！？』

**グール**だ。君たちを見ると、足りない死骸とやらの数合わせにするつもりなのか、襲いかかってきた！

[E-44 **グール**]と戦闘になります。

グールとの戦闘に勝利し、**墓地**を探索すると、墓石に刻まれているのが**神を冒瀆**するような意匠ばかりだと気が付きます（**逆五芒星**や**逆十字**です）。どうやらここは**通常の教会の墓地**に埋葬できないような信仰を持った人々の墓場のようなようです。

## [T-63 井戸]

古びた井戸に近づくと、周囲に繁茂していた**植物**がガサゴソと音を立てて動きだし、襲いかかってきた。

[E-84 **凶暴化した植物**]との戦闘になります。

倒した後で井戸を探索すると、底にきらりと光る**何か**が落ちています。凶暴化した植物のツタを切ってロープ代わりにして降りると、[I-27 **聖なる短剣**]が井戸の底に落ちているのを発見します。

## [T-61 霊廟]

豪華な霊廟の墓碑には、『**伯爵夫人エレオノール**ここに眠る』と書かれている。

石の棺に近づくと、ゴトリとふたが開いて、中から**豪華なドレス**を着た美しい女性が現れた。

女性は[E-89 **死者の女王**]です。

彼女は「あなたがたは**アウローラ**を解放する者ですか？」と問いかけます。

### ◆YES

女性は以下のように語ります。

「私は、かつてこの地の**領主**であった者の**妻**でした。夫は**アウローラ**の力を**悪用**し、それに飽きたらず彼女の力を上回る力を欲し、**悪魔**に**魂**を売りました。そんな夫へそれ以上の助力を拒んだ**アウローラ**は、この館の塔に封じられました。彼女を逃がそうとした**私自身**も、夫の呪いで**死ぬ**こともままならず、このような姿でこの館に留められています」

彼女はプレイヤーに[I-19 **塔の鍵**]を渡します。このアイテムは、**使用済み**にはなりますが、**捨て札**にはなりません。

「どうかこれをお持ちください。我が娘とアウローラの**侍女**だった者がこの館に縛り付けられております。彼女たちの持つ**鍵**があれば、アウローラを**解放**し、私たちを含むこの館に**呪縛された魂**たちも**安らか**になることができるのです」

#### ◆NO

[E-89 **死者の女王**]と戦闘になります。

倒すと側の床に[I-19 **塔の鍵**]が落ちています。このアイテムは、**使用済み**にはなりますが、**捨て札**にはなりません。

#### [T-24 庭園]

美しい泉の真ん中に、ゆったりとした衣装の**美女の大理石像**が立っています。

像の台座には、『**アウローラ**』と記されています。

この泉には**癒し**の力があります。[E-28 **奇跡の泉**]のイベントを、**1回**だけ起こすことができます。

使用するまで**イベントカード**を置いておき、使用後に取り除きます。

#### [T-31 主寝室]

ここは荒れ果てた部屋なのに、なぜか**女性的な良い香り**がします。

どうやら香りは、ベッドの横のサイドテーブルに置いてある**香炉**からのようです。

[E-79 **妙なる香り**]のイベントを、**1回**だけ起こすことができます。

使用するまで**イベントカード**を置いておき、使用後に取り除きます。

#### [T-34 召使い部屋]

[E-59 **幻聴**]のイベントを発生させ、処理を行います。

以下を読み上げます。

---

部屋に入ると、若い女性の声と男性の声がした。

『さあ、**コンスタンス**。**アウローラ**にこの**薬**を盛るのだ。最も**忠実な侍女**のお前になら、**アウローラ**も**気を許すはずだ**』

『ああ、旦那様！　なんて恐ろしいことを！！　あの**聖なる方**にそのようなことはできません』

『私に逆らうというか。良かろう、我が**呪い**を受けるが良い！』

悲鳴が聞え、後は恐ろしいほどの静寂が辺りを支配した……。

#### [T-28 荒廃室]

[E-17 **幻視**]のイベントを発生させ処理を行います。

その後、以下を読み上げます。

---

部屋に一步入ると、周囲が**真っ暗**になった。その中に、ぼうっと光の像が浮かび上が

ってくる。

教会部屋らしき場所で、裸の人々が集い、サバトに興じている。

奥の逆さ十字の下で、人々の礼拝を受けている男の顔は、君たちの依頼人であるあの領主の末裔にそっくりだった……。

### [T-25 客室]もしくは[T-33 収納室]

[E-33 死んだ冒険者]が出現し、戦闘になります。

倒すと、死んだ冒険者は

「街のために館を調べに来て、こんな目にあうなんて……。俺たちは、騙された……」

と言いながら崩れ落ちます。

### [T-27 研究室]

怪しげな呪術の道具が乱雑に置かれています。どうやらこの部屋の主は怪しい魔術の研究に傾倒していたようです。

積み重なる本の中、[I-9 日記]を発見します。そこには以下のように書かれています。

「ついに太古の神女アウローラを館に招くことに成功した。これで、我が領地を脅かした者たちへの復讐ができる！」

「アウローラの力は予想以上だ。だが、このままでは、扱いきれなくなる。何とかしなくては……」

「悪魔の力を手に入れば、私はもうアウローラを恐れる必要などない」

「これで、私はアウローラを超えた！ あの女に味方する者もいるが、ちょうどいい。我が呪いの力を増すために、捧げてやろう」

「良いことを思いついた。この館そのものをアウローラの墓場としてやれば、さぞ胸のすく思いだろう」

### [T-35 図書室]

膨大な数の書物の中に、ひとときわ古い魔導書を見つけます。

[I-21 魔導書]を手に入れます。

そこには、

「アウローラとは、太古なる神の寵児であり、その恩寵により不老不死の肉体と予言の力、すべての事象を支配する魔術の力を持つにいたった、森羅万象の渦の中心である。彼女は邪心なくすべてを支配する。だが、特定の法則に従った建造物に彼女を閉じ込めることができれば、その力の大部分を封じることができる」

と書かれています。

### [T-26 教会部屋]

部屋には、コウモリの翼を持った悪魔的な美女がいます。

[E-41 ささやく美女]が現れます。



彼女はプレイヤーに「あなたがたはアウローラを解放する者なの？」と問いかけます。

#### ◆YES

ささやく美女はあなたたちに、以下のように語ります。

「私はミラベル。かつてここの領主だった者の娘よ。父がアウローラを招いたのは、周辺の領地との争いから領地を守るためだった。けれど、父はアウローラの力に溺れ、あげくにその力に嫉妬するようになったの。父は人の道を踏み外し、悪魔崇拜にのめり込み、自らが悪魔となった。そして、アウローラをこの館の塔に幽閉し、私たちのように彼女を助けようとした者たちや、悪魔崇拜の犠牲者の魂を呪いでしばりつけたの」

ミラベルはあなたたちに[I-23 十字の鍵]を渡します。このアイテムは、使用済みにはなりますが、捨て札にはなりません。

「お願い。アウローラを解放して。彼女が解放されれば、悪魔の力は衰え、私たちも救われる！」

#### ◆NO

[E-41 ささやく美女]と戦闘になります。倒すとそばの床に[I-23 十字の鍵]が落ちているのを見つけます。

このアイテムは、使用済みにはなりますが、捨て札にはなりません。

### [T-18 舞踏室]

舞踏室には、質素だがきちんとした身なりの美しい女性がいます。

[E-85 破滅の歌い手]のカードで代用してください。

彼女はプレイヤーに、「あなたがたはアウローラを解放する者ですか？」と問いかけます。

#### ◆YES

女性はプレイヤーたちにこんなことを語ります。

「私はコンスタンス。アウローラ様に侍女としてお仕えしていました。ここの領主は、アウローラ様の力を自らの繁栄のために求めました。この館の表にある賭博場もその一環で、アウローラ様の予言のお力で裕福な者の財を搾り取るためのものだったのです。しかし、アウローラ様はとうとう領主に愛想を尽かしました。そして、領主はアウローラ様が従わぬと分かると、悪魔に魂を売ったのです。悪魔の力を得た領主により、アウローラ様も、私たちもこの館に縛られる者となってしまいました」

コンスタンスは[I-17 スケルトン鍵]と[I-49 ペンダント]を渡します。

[I-49 ペンダント]は、陶器製のプレートが金の枠にはめ込まれたもので、アウローラを中心に、領主の奥方エレオノール、領主の娘ミラベル、侍女のコンスタンスが描かれています。

これらのアイテムは、使用済みにはなりますが、捨て札にはなりません。

## ◆NO

[E-85 破滅の歌い手]との戦闘になります。倒すと[I-17 スケルトン鍵]と[I-49 ペンダント]が側の床に落ちています。

これらのアイテムは、使用済みにはなりますが、捨て札にはなりません。

## [T-14 塔]

このタイルに入るためには、[I-19 塔の鍵]が必要となります。パーティーの誰かが所持していればOKです。

[T-14 塔]からは[T-15 塔]につながっています。二階部分として、[T-15 塔]を配置し、その先に[T-40 封印室]を配置します。

[I-49 ペンダント]を所持していれば、[T-14 塔]、[T-15 塔]、[T-40 封印室]で狂気カードを引く必要がありません。

## [T-40 封印室]

[T-40 封印室]には、[I-23 十字の鍵][I-17 スケルトン鍵][I-49 ペンダント]が揃っていれば入ることができます。

部屋に入ったら、まずタイル処理を行います。

部屋には、予言者アウローラ ([E-37 血塗れ予言者]のカードを使用します) が閉じ込められています。

彼女は以下のように語ります。

「ようこそ、みなさん。あなた方がおいでになることはわかっておりました。新聞社に予言の手紙を出したのは、あなた方に来ていただくためだったのです。私をこの館より連れ出してください。そうすれば、この館にかかった呪いも解けることでしょう。ただし、悪魔を敵に回すでしょうが」

## ◆アウローラの頼みを断る

アウローラは悲しげに「悪魔の甘言にそそのかされてしまったのですね……。残念です」と言って、戦闘になります。データは以下の通りになります。

予言者アウローラ				
HP	-	MP	25	HP 攻撃
対多人数戦闘 判定カードを2枚引き高い方を採用				

アウローラを倒した場合、☆結末の結末Aへと進みます。

## ◆アウローラを連れてゆく

アウローラを連れて、[T-48 玄関ホール]へたどり着いた時点で、[E-83 悪魔]が出現します。

以下を読み上げます。

玄関ホールまでたどり着いたきみたちを待ち構えていたのは、依頼人である**領主の子孫**だった。

「アウローラを解放する者が現れたか。愚かな。まあ良い。**アウローラ**ともどもここで葬ってやる！」

そう叫んで、男は悪魔に変身し、きみたちに襲いかかってきた！

**[E-83 悪魔]**との戦闘になります。

データはカードのデータをそのまま使用します。

男を倒すと、**☆結末の結末B**へと進みます。

### ☆結末A：アウローラを倒している

以下を読み上げます。

玄関ホールから外に出たきみたちを迎えたのは、あの領主の**末裔**だという**依頼人**だった。

「よくやってくれました！ これ**魔女アウローラの脅威**から人々は守られます」

そう言って男は**小切手入りの封筒**をきみたちに手渡す。

すべてを見ていたかのようなタイミングでやってきた男に、きみたちは少なからず**不審感**を感じるが、男はそれを見透かすように、唇に指を当てるとゾツとする笑みできみたちに沈黙を強いた。

小切手には大金が書かれている。しかし、自分たちはそれと引き換えに、**何かを失ってしまった**のではないか.....？

### ★結末B：悪魔を倒している

以下を読み上げます。

**アウローラ**が一步敷地の外に出ると、館の様子は一変します。

まるでフィルムを早回しするように館は急速に朽ちて崩れ落ちてゆく。そこから、解放されたあまたの**魂**が天に向かって昇ってゆくのだ。

その中には、**レオノール**、**ミラベル**、**コンスタンス**の姿もあり、**アウローラ**はほっとしたような**悲しそうな表情**でそれを見送っていた。

「ありがとうございました。私はこの地を去り、昔のように世界をさ迷います。また、どこかでお会いできるかもしれませんね。.....できれば、その鍵となった**ペンダント**は私に下さいませんか？ 彼女たちを思い出すよすがにしたいのです。

ペンダントを渡すかどうかは、**プレイヤーの任意**です。

### ☆レベル点

- アウローラを解放した=1 レベル点
- アウローラを倒し悪魔から報酬を受け取った=0.5 レベル点
- 全滅した=0 レベル点

### 【作者から】

禍々しい[E-37 血塗れ予言者]を神の女にしてみたら面白そうだ、という発想から作りました。他の女性型モンスターたちも、あまりに素敵なので、キーパーソンとして絡めてみました。

### 【SNE で遊びました！】

ゲームを開始した時、プレイヤーからひとこと。

「おお、街がある！」

このシナリオは、屋外と屋内の探索の両方がある、かなりのボリュームでした。SNEメンバーも心ゆくまで楽しませていただきました。

キーパーソンの美女三人の、「アウローラを解放するものか？」という質問にどう答えるかは、最初かなり悩みました。何か騙されているような気もするけれど、依頼受けているし……、というジレンマです。

マップが広く手がかりの数の多いシナリオなので、ゴーストハンター13に不慣れなプレイヤーで遊ぶ場合は、あと3ターンほど制限ターン数を伸ばしても良いでしょう。

しーちゃんさん、楽しいシナリオをありがとうございました！